

わだち

令和2年7月17日 第14号

情報モラルを守り「発信」できる人をめざして

熊本日日新聞の「若者コーナー」に産山学園の子供たちの投稿が掲載されています。6月22日は岩下さん、7月14日には井さんの投稿が掲載されました。このコーナーには、県下、多くの子供たちが投稿しているようですが、その中から選ばれて、掲載されるということは、とても喜ばしいことです。「発信」が認められましたね。おめでとうございます。

情報を得る・・・そのために、私たちはインターネットを使っています。例えば、天気を知るためにスマホを見る方も多いことでしょう。産山学園のホームページのアクセス数はおかげさまで、現在、21万を超えました。3年前は、2万くらいのアクセス数でしたから、ありがたいことに多くの方に訪問いただき、学園の情報を得ていただいています。

次は、情報の発信です。SNSが発達した今、情報を受け取る人のことを考えた責任ある発信、情報のモラルを守った発信ができる人になってほしいと願います。学んだことを表現し、それを世の中に「発信」していく次世代の産山育ちの子供たちが楽しみです。 村上 拝

ようこそ先輩！社会科の授業で後輩にエール😊

7月15日(水)、8年生社会科の授業「阿蘇の草原保全を考えよう」にゲストティーチャーとして昨年度のPTA会長、教育委員で牛の放牧や肥育をされている森本春樹さんをお招きしました。

「学習は、受験のためでなく、未来をよりよく生きていくためにある」という古庄先生はじめ全職員の思いに共感してくださった森本さん。畜産農家としての苦労ややりがい、草原の大切さや産山の素晴らしさを熱く語っていただきました。8年生は、草原保全について自分なりの考えをもって授業にのぞみ、先輩の話を聴くだけでなく、質問したり、意見交換をしたりして、学びを深めることができました。最後に森本さんから、「よく理解していますね。皆さんの将来が楽しみです！」と、元気の出るエールをいただきました。森本さん、ありがとうございました。 今村 拝



**羽球部、野球部の9年生の皆さん。
中体連代替試合の健闘を祈ります！
しっかり準備をして悔いのないよう
プレーしてください！**

**学園生
&職員一同**

